



THE ARCTIC WEAPON, THE RIFLE SYSTEM !

## MARUZEN APS type 96

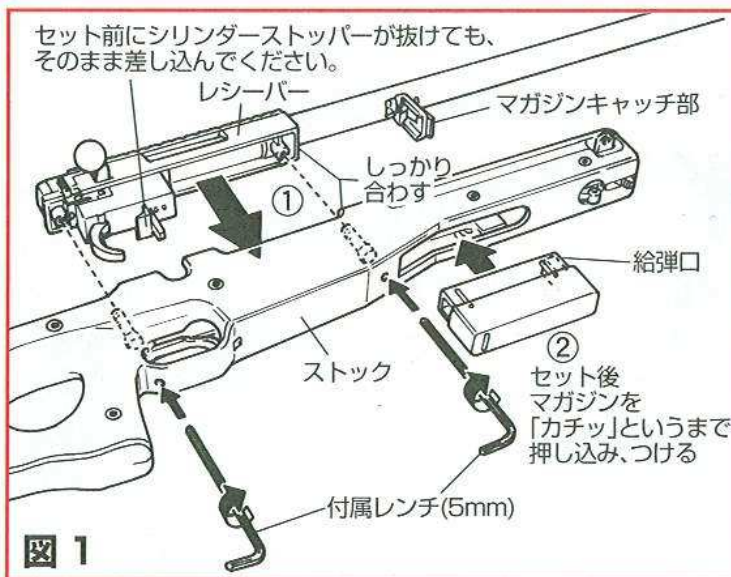
### INSTRUCTION MANUAL

マルゼン APS タイプ96 使用説明書 **保存版**

★ご使用前に必ず最後までお読みください。★

#### 銃の組立

この製品はレシーバーとストックを分離して梱包しています。  
まず 図1 を参考に、以下の方法で組み立ててください。



①セットスクリューはストックの中に内蔵されています。(このセットスクリューはストックから取り出せません。) レシーバーとストックを確実に合わせ、前後2ヶ所のセットスクリューを付属レンチ(5mm:太い方)にて、適度な力で止まるまで締め込んでください。止まった後は無理に締め込まないでください。破損の原因になります。

②セット後、マガジンを付けてください(2.マガジンの使い方 参照)。マガジンキャッチがかからない場合は再組立してください。

※分離する時は、まずマガジンをはずしてください。

この製品にはBB弾が必要です。BB弾は別売マルゼン製BB弾各種(スーパーグランドマスター推奨)を必ずご使用ください。

#### 警告

- この製品は18才以上の使用者を対象にした競技用エアスポーツガンです。誤った使用や不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。50mまでが危険範囲となります。
- ご使用前に使用説明書はすべてお読みください。そして必ず保管してください。説明書を紛失された場合、ただちに当社までご請求ください。購入者及び使用者は説明書に記載されている使用上のルールを守り、操作方法を確実にマスターしてください。



## 記 載 内 容

- ① エアースポーツガン使用上のルール：②
- ② 製品説明（各部名称・諸元表）：③
- ③ 操作方法（1.～5.）：③～⑩
- ④ メンテナンス：⑩～⑭
- ⑤ 危険な改造の禁止：⑭
- ⑥ 保管方法：⑭
- ⑦ トラブルシュート（故障と思われる時）：⑮
- ⑧ マルゼン製品の修理について：⑯

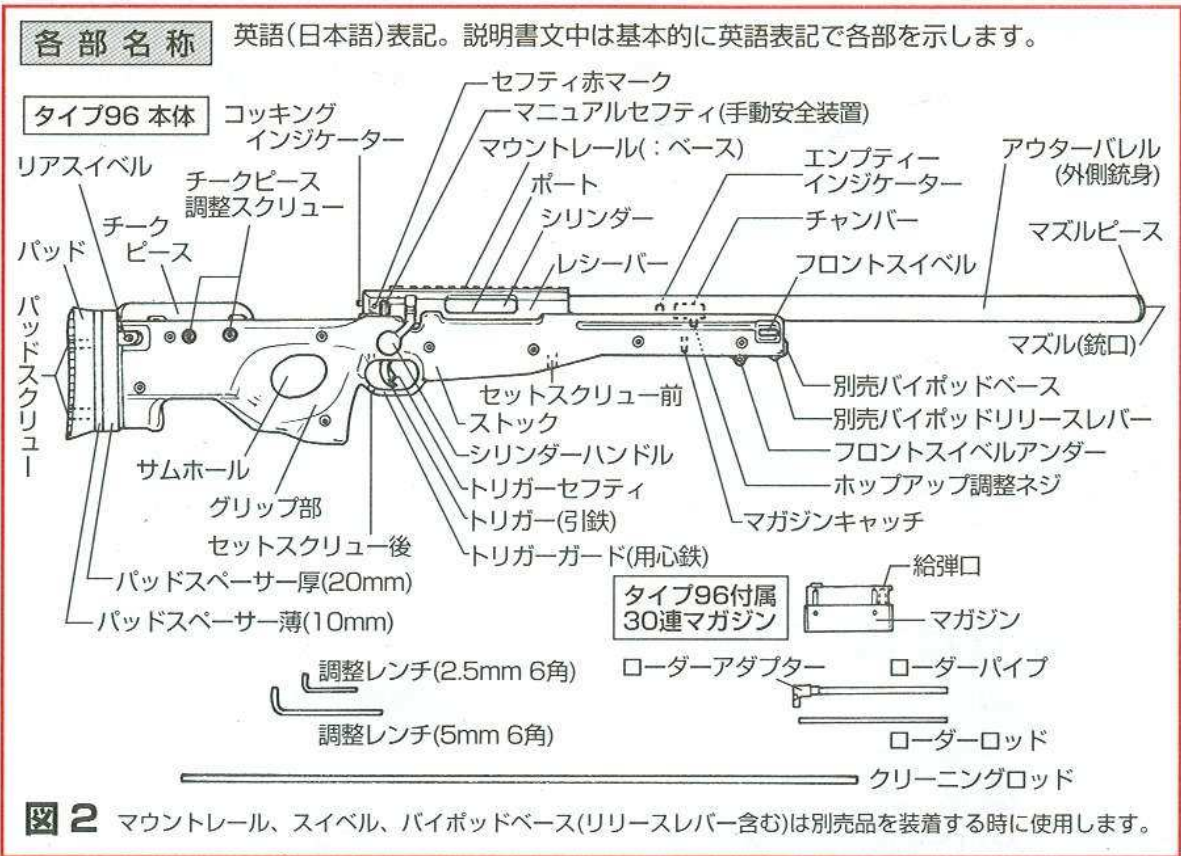
## ① エアースポーツガン使用上のルール

★エアースポーツガンは、18才以上を対象に製造された競技銃です。競技場所、練習場所をよく考慮したうえで、競技ルール（APSカップルール等）を守り健全にお楽しみください。

**⚠ 警告：以下のルールは必ず守ってください。**

- ① 使用する時は、その場の全員が眼の保護具（シューティンググラス等）を必ず装着してください。
- ② 給弾の有無に関係なく、銃口は絶対に人や動物等に向けないでください。
- ③ 銃は発射するとき以外は、常にセフティをかけてください。
- ④ 銃は常に装弾されていると思って扱ってください。また、使用時以外は必ず弾を抜いてください。
- ⑤ ターゲットを狙っている時以外は、トリガーに指を触れないでください。
- ⑥ 跳弾及びBB弾の割れる可能性のある固いもの、貫通の可能性のある弱いもの等はターゲットに使用しないでください。ターゲットの周囲にも注意してください。
- ⑦ 銃口は絶対にのぞかないでください。弾があたった場合、失明やケガ等の危険があります。
- ⑧ 銃の分解／改造／加工は修理の為でもやめてください。組み違いによる故障の恐れがあります。
- ⑨ JASG承認のBB弾以外は使用しないでください。
- ⑩ マナーとして、競技等の使用時以外は銃を露出させないでください。
- ⑪ 銃により操作方法は異なります。必ずその銃の説明書を熟読して操作に慣れてから給弾してください。
- ⑫ 事故を防ぐのも、起こすのも、銃を手に行っているあなたです。銃の扱いには充分注意して、銃口はいつも安全な方向に向けてください。
- ⑬ 必ず対象年齢以上の方が管理して、対象年齢未満の子供等の手が届かないようにしてください。

## 2 製品説明 (各部名称・諸元表)



### マルゼン APS タイプ96 諸元表

※必ずしもすべての製品がこの数値とは限りません。(03/10現在)

発射方式	コッキング エアー：手動コッキングによるスプリングエアー※ニューAPSシステム採用		
装弾数	30発	使用弾	マルゼン製6mmBB弾各種
最大射程	50m(最適角度で上方に発射した時)	初速	270fps. (82.3mps.)
エネルギー	0.98J (0.36kgm/cm <sup>2</sup> )		
バレル	500mm(外径8mm・内径6.05mm・可変ホップアップ付)		
セフティ	マニュアル、トリガー、インナー	サイト	未装備(別売スコープ等専用)
全長	1150mm	重量	3340g
材質	グラスファイバー入ABS、ジンクダイキャスト、アルミ等		

※最大射程、初速、エネルギーの数値は、マルゼン製スーパーグランドマスターBB弾0.29gを使用した最大値です。

## 3 操作方法 (1.~5.)

**警告** マルゼン製エアースポーツガンは18才以上の方であればどなたでも購入、使用できますが、場合によっては失明やケガ等の危険があります。銃は発射する時以外は、常にセフティをかけてください。また、使用時以外は必ず弾を抜いてください。(5.発射を終える時の処理を参照)

操作手順

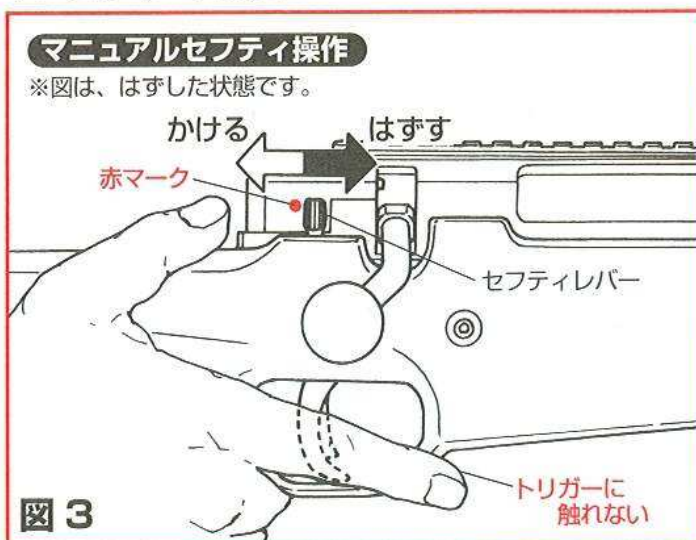
1. セフティ操作
2. マガジンの使い方
3. 発射

4. 可変レンジアップ(ホップアップ)について
5. 発射を終える時の処理

※保管する時は⑥保管方法を参照

③

## 1. セフティ操作



### マニュアルセフティ操作

※図は、はずした状態です。

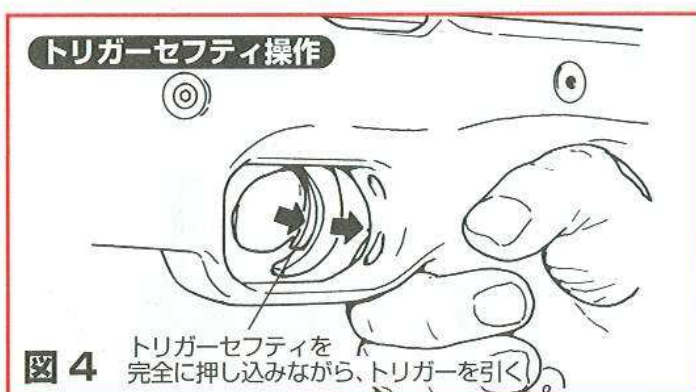
### <マニュアルセフティ操作>

⇒図3参照

**かけ方**：トリガーに触れずに、セフティレバーを **かける方向** に止まるまで「カチッ」とスライドさせてください。トリガーは引けなくなります。この銃のセフティは、トリガーをロックするタイプです。トリガーに触れていなければ、いつでもかけられます。発射(⇒図10 参照)時以外は常にかけてください。

**はずし方**：トリガーに触れずに、セフティレバーを **はずす方向** に止まるまで「カチッ」とスライドさせて赤マークを出してください。

※コッキング操作時(図7・8 参照)、マニュアルセフティに手等が触れてしまいますと、誤って操作される場合があります。充分ご注意ください。



### トリガーセフティ操作

トリガーセフティを完全に押し込みながら、トリガーを引く。

### <トリガーセフティ操作>

⇒図4参照

**かけ方**：構造上、トリガーに触れなければ常にかかったままで、トリガーをロックしています。

**はずし方**：トリガー前面に指をしっかりと当て、トリガーセフティ部分を押し込んでください。完全に押し込んだ時のみはずれ、トリガーを引くことができます。

### <インナーセフティについて>

この銃にはコッキング操作(図7・8 参照)と連動したインナーセフティを備えています。ハンドルが下がっている(図3 の状態)時のみ解除され、そのポジション以外(：コッキング操作中等)は自動でかかり、トリガーをロックします。

**△注意**：銃を手にしたら、銃口は必ず安全な方向に向けてください。そして発射(⇒図10 参照)時以外常にセフティをかけて、トリガーには触れないでください。またセフティ(3種)がかかっている状態で、トリガーを無理に操作することは作動不良・故障の原因になりますので、おやめください。銃はいつも給弾され、発射可能であるとして慎重に取り扱ってください。

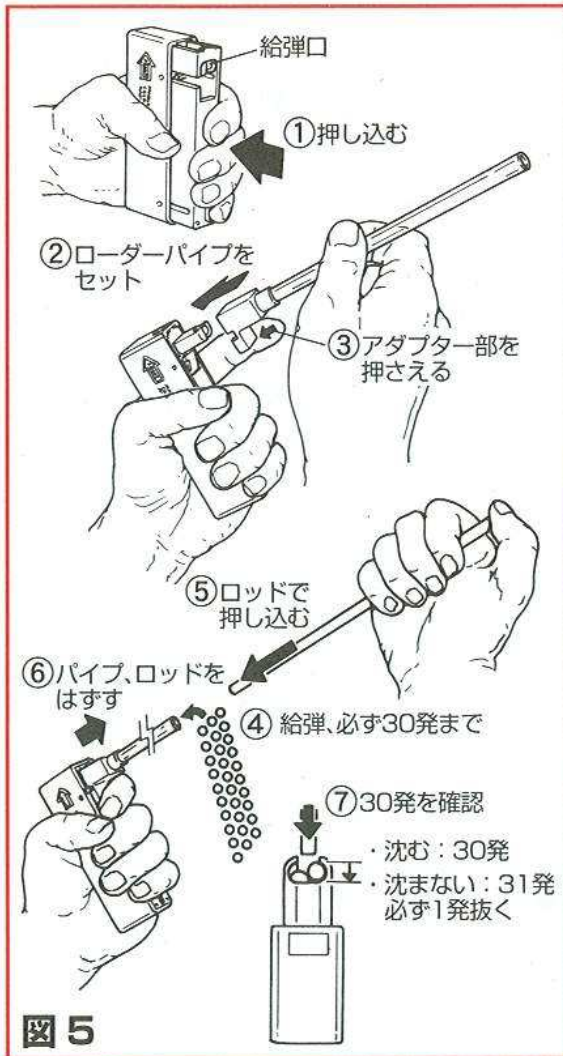
## 2. マガジンの使い方(A.~C.)

**△注意**：このマガジンは重量がありますので、誤って落下させた場合、思わぬケガ・事故の原因となる場合があります。ご注意ください。

### <A. つけ方>⇒図1参照

※このマガジンは銃につけた時、上部分が下部に沈み込む伸縮方式を採用しています。

給弾口部分を銃口側にして、マガジンキャッチが「カチッ」とかかるまでしっかり銃内に入れ、下面がストックとピッタリ合ったことを確認してください。また、このマガジンは構造上31発給弾できる場合がありますが、銃につかなくなります。次の<B. BB弾の給弾>の⑦ 参考に必ず1発抜いてください。

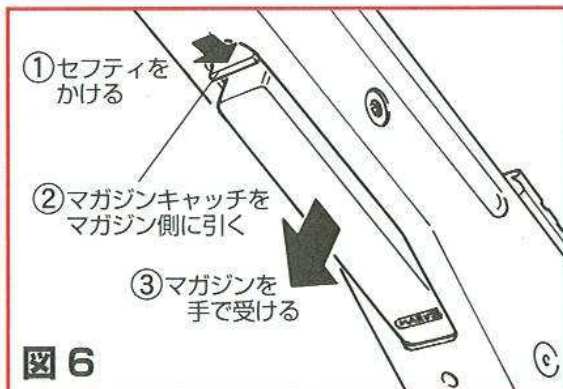


### <B. BB弾の給弾> ⇒図5参照

- ① このマガジンは伸縮タイプです。まず矢印部分を押し沈み込ませ、給弾口を出してください。
- ② 縮めたまま 図5 を参考に、給弾口にローダーパイプをセットしてください。
- ③ そのアダプター部を押さえます。
- ④ マルゼン製BB弾をパイプ内いっぱいに流し込んでください。ちょうど30発入ります。
- ⑤ 続いてロッドで全弾を「カチカチ」と押し込んでください。
- ⑥ マガジンからローダーパイプ(アダプター含む)・ロッドを一緒にはずしてください。
- ⑦ このマガジンは構造上31発給弾できる場合がありますが、銃につかなくなります。無理につけてしまいますと故障の原因となります。30発給弾を確認して、31発の場合はロッド等を用いて必ず1発抜いてください。

★30/31発の確認方法：給弾後、ロッドで給弾口のBB弾を押し下げてください。約1発分下がる場合は30発、下がらない場合は31発給弾しています。必ず1発抜くこと。

⚠ 警告：BB弾はマルゼン製6mmBB弾各種(SGM-BB弾、アキュラシーBB弾等)を必ずご使用ください。これらのBB弾を使用した場合、最適の性能が得られるでしょう。他社製造の直径及び表面処理の異なるBB弾の使用は作動不良の原因にもなります。また、割れた、キズの付いた、変形した、ヨゴレの付いた、一度使用したBB弾及びBB弾以外の異物は給弾しないでください。銃口から直接BB弾、異物も入れないでください。故障の原因になります。



### <C. はずし方> ⇒図6参照

- ① まずセフティがかかっていることを確認してください。
- ② マガジン着脱口の下に手を置いてから、マガジンキャッチをマガジン側に引いてください。
- ③ 抜け落ちるマガジンを落下させないように、手で受け止めてください。

⚠ 残弾警告①(マガジンをはずす時)：実物同様に、この銃は構造上、銃のチャンバー(発射直前のBB弾を保持するバレル基部 ⇒図2 参照)内にBB弾を送る動作：コッキング(⇒図7・8 参照)をした後にマガジンをはずした場合、銃チャンバー内に必ず残弾したままになり、大変危険です。続けて撃たない時はただちに5.発射を終える時の処理に従い、銃内にBB弾の無い安全な状態にしてください。マガジンがついていない、もしくはエンプティーインジケーター(図11 参照)が突き出ているというだけで、その銃内にBB弾がないだろうとは絶対に判断しないでください。

### 3. 発 射

このタイプ96は、手動でシリンダー内ピストンのスプリングを圧縮しながら後退させ固定(：コッキング)、トリガーにより一気に解放し、シリンダー内に空気の流れを生じさせてBB弾を発射します。

#### <照準について>

このタイプ96は、スコープ等専用のため、アイアンサイトの類は装備・付属していません。レシーバー上に20mm幅レール(マウントベース)が装備されていますので、対応するマウントリング・スコープ等をその説明書に従って取り付け、使用してください。

⚠ 警告：取り付け作業前、コッキングされていない事とセフティがかかっている事を確認してください。工具が必要ならその取り扱いに注意してください。

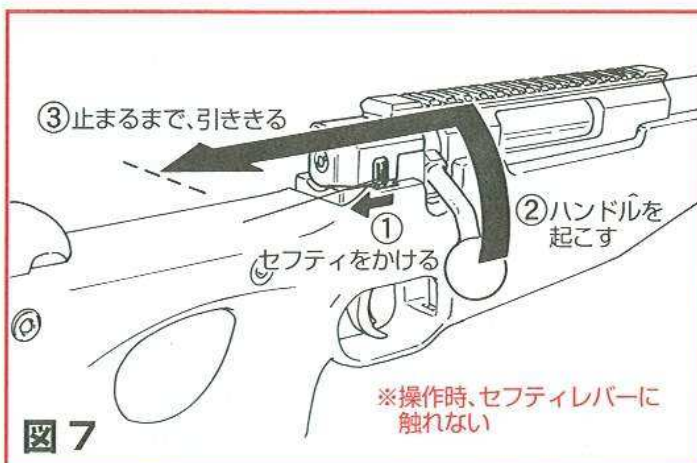


図 7

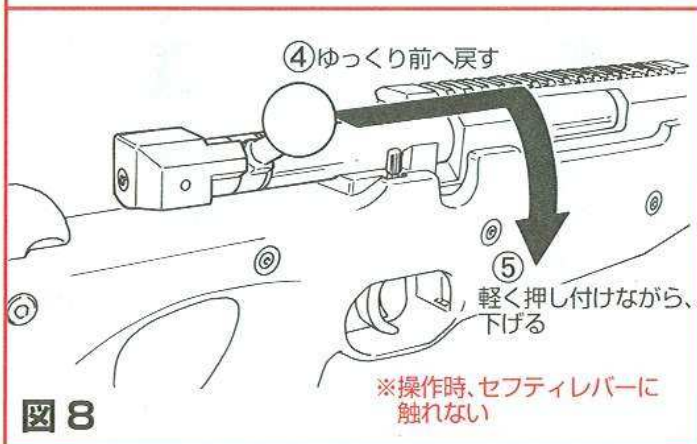


図 8

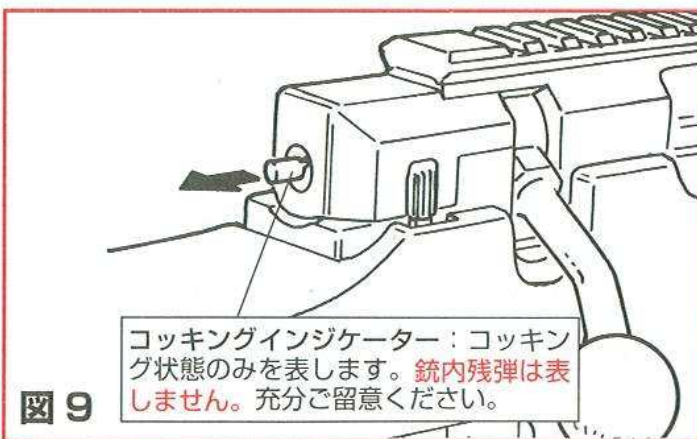


図 9

#### <コッキング操作> ⇒図7・8参照

- ① まずセフティがかかっていることを確認してください。⇒図3 参照  
※コッキング操作時、マニュアルセフティに手等が触れてしまうと、誤って操作される場合があります。充分ご注意ください。
- ② シリンダーハンドルを「カチッ」と音がするまで起こします。操作中はこの位置で固定されますので、確実なアクションが可能です。
- ③ シリンダーハンドルを止まるまで確実に引ききってください。シリンダー内スプリングが圧縮され、ピストンがAPSシアーにかかり、内部はコッキング状態になります。シリンダーはそこで止まります。
- ④ 続いて、シリンダーハンドルを、ていねいに、ゆっくり前に戻しきってください。(⇒後記 ⚠コッキング注意 参照)
- ⑤ ハンドル固定を解除するため、**軽く前方に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで確実に下げて**ください。コッキングインジケーター(下記 参照)が突き出し、コッキング完了です。

#### <コッキングインジケーターについて>

⇒図9参照

この銃にはコッキングインジケーターが装備されています。コッキングが完了した時にシリンダー後部より突き出します。見るか、触ってご確認ください。トリガーを引けばピストンが前進して、引っ込みます。**このインジケーターはコッキング状態のみを表し、銃チャンバー内(発射直前のBB弾を保持するバレル基部 ⇒図2 参照)のBB弾の有無を表すわけではありません。充分ご注意ください。**

## ⚠️ コッキング注意

1. <コッキング操作> のシリンダーを引く時は、確実に引ききるということを守ってください。引ききらず、止まる前に手が放れてしまうと、シリンダーは勢い良く前進して、ハンドルが身体に当たったりします。この時コッキングされなくてもBB弾はチャンバーに運ばれてしまい、次のコッキング操作でダブルチャージ(2発以上同時発射)を起こす場合があります。
2. <コッキング操作> のシリンダーを戻す時、必要以上に強く戻されると、弾こぼれ(チャンバーパッキンの保持を離れたBB弾がバレルに入り、銃口よりこぼれること)を起こす場合があります。
3. 上記1. 2. のような誤操作や、「引く戻す」を何回も行いますと、構造上、ダブルチャージ(上記1. 参照)や弾こぼれ(上記2. 参照)を起こす場合があります。弾こぼれが起こってもチャンバー内にBB弾が残っている可能性はありますので、必ず安全な方向に撃ってから、再操作してください。またダブルチャージでの発射は狙った方向ではなく、思わぬ方向に飛ぶ場合がありますので、ダブルチャージをしてしまったようでしたら、同様に必ず安全な方向に撃ってから、再操作してください。



図 10

エンプティージェネレーター：シリンダーハンドルが下がっている(図3・9参照)時に突き出せば、装着されているマガジン内の残弾0状態のみを表します。銃内残弾は表しません。

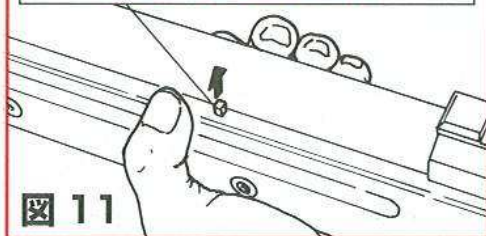


図 11

## <発射> ⇒図10参照

- ① ターゲットとその周囲(特に後方)の安全を充分確認してください。銃を正立(⇒図10 参照)させてから、セフティはずしてください。
- ② ここで初めてトリガーガード内に指を入れ、トリガーにしっかり指を当てて、トリガーセフティを解除しながら確実に引ききってください。BB弾が発射されます。APSシステムによるトリガーフィーリングをご堪能ください。※弾道が不適正な場合はただちに 4.可変レンジアップ(ホップアップ)についてをご参照ください。
- ③ 前記<コッキング操作>にて次弾発射準備を整え、発射を続けてください。マガジンに給弾のある限り発射できます。マガジン内最終弾を<コッキング操作>にてチャンバーに送りハンドルを下げると、銃に装着されているマガジンの残弾は0になり、エンプティージェネレーターが突き出します(下記参照)。マガジンチェンジのタイミングと判断してください。最終弾発射後は、空撃ち(：弾は発射されずエアーのみ)になります。

## <エンプティージェネレーター> ⇒図11参照

タイプ96にはシリンダーストップの代わりに、エンプティージェネレーターを設けました。ストック左前方のちょうどマガジン上部分に突き出し、シリンダーハンドルが下がっている時(図3・9の状態)に装着されているマガジン内残弾0状態のみを表します。インジケーターを見るか、触ってご確認してください。空マガジン(マガジン内残弾0)をはずせば、引っ込みます。また、このインジケーターを押さえた状態でコッキング操作を行った場合、マガジンに最終弾が残りますので、上から押さえないように触ってください。

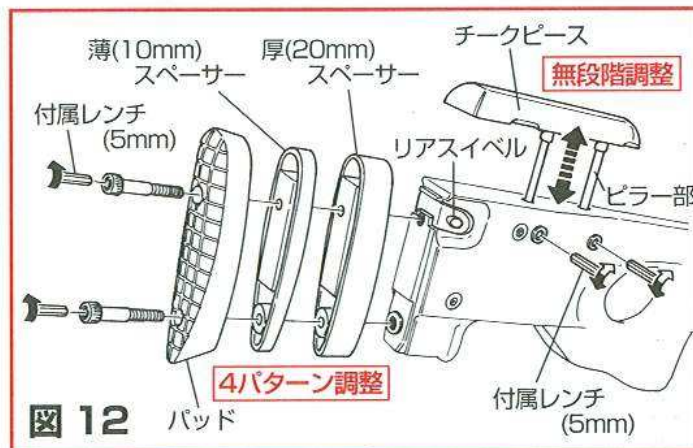
⚠️ 注意：構造上、マガジン内最終弾の時、<コッキング操作>にてシリンダーハンドルを引き始めると、マガジン内に最終弾が残っている状態でこのインジケーターは突き出してしまいます。特にハンドルを引ききって止めた時にその突き出しを確認して、マガジン内の残弾が0だと判断しないでください。①エンプティージェネレーターが突き出ている、②シリンダーハンドルが下がっている(図3・9の状態)、この2条件が揃った時のみ、銃に装着されているマガジン内残弾は0状態です。このインジケーターはマガジン内残弾0状態のみを表し、銃チャンバー内(発射直前のBB弾を保持するバレル基部⇒図2 参照)のBB弾の有無を表すわけではありません。エンプティージェネレーターの突き出しだけを確認して、銃内残弾0と間違わないよう、充分ご注意ください。

## <コッキング解除>

この銃はいったんコッキング状態にすると、トリガーを引かない限りその解除はできません。給弾の有無にかかわらず、銃口は必ず安全な方向に向け、トリガーを引いて解除してください。

### ⚠ 警告：発射の際は以下の5点にご注意ください。

1. 銃を操作する時は可動部(シリンダーハンドル前後等)に身体の一部や衣類等が当たったり、かんだりしないようご注意ください。
2. この製品のレンジアップ(ホップアップ)システムは銃をまっすぐ正立(⇒図10 参照)させて、適正な調整を行い、条件に合うBB弾を発射した時に効果的なホップアップ弾道が得られます。よって銃を斜め、横、逆さにしたり、不適正な調整を行ったり、条件に合わない重量・直径のBB弾を発射されると、BB弾は全く予期しない方向(極端なホップ・曲がり・ドロップ)に飛んだり、弾づまり(こもった音で銃内に停弾)を起こす恐れがあります。つまり弾は、ただちに ⑦トラブルシュート の 3. を参考に銃から取り出してください。4. 可変レンジアップ(ホップアップ)について を参照
3. ⚠ 残弾警告②(コッキング後)：実物同様、この銃は構造上、銃のチャンバー(発射直前のBB弾を保持するバレル基部⇒図2 参照)内にBB弾を送る操作：コッキング(⇒図7・8 参照)をした後にマガジンをはずした場合等、銃チャンバー内に必ず残弾したままになり、大変危険です。このまま放置すると次操作時残弾を忘れて発射してしまう可能性があります。続けて撃たない時はただちに 5. 発射を終える時の処理 に従い、銃内にBB弾の無い安全な状態にしてください。マガジンがついていない、もしくはエンプティージャー(図11 参照)が突き出ているというだけで、その銃内にBB弾がないだろうとは絶対に判断しないでください。(2. マガジンの使い方の ⚠ 残弾警告① も参照)
4. ターゲットの選択、及びターゲットの周囲には特に注意してください。跳弾及びBB弾の割れる可能性のある固いもの、貫通の可能性のある弱いものはターゲット機材に使用しないでください。
5. 給弾の有無に関係なく、銃口は絶対に人や動物に向けないでください。また、撃つべきではないものに対しては狙う行為もやめてください。



## <ストック調整>⇒図12参照

使用者の好み・体格、別売スコープ等をつけた時のアイリリーフ・目の高さ(位置)に合わせて、ストックの長さ・チークピースの高さを調節できます。アイリリーフ：実銃は発射時、リコイルが存在します。もしスコープ等に眼をピッタリ付けて発射したら、スコープ接眼部で眼を激しく押されることとなります。これを防ぐために、スコープ接眼部と眼の間は必ず数cm 開けます。

**パッド**：ストックとパッド間には、厚(20mm)と薄(10mm)のスペーサーがあります。付属レンチ(5mm：太い方)にてパッド面の2本のスクリューを緩め、図12 のようにはずしてください。①厚+薄(どちらが先でも可)②厚のみ③薄のみ④無、の4パターンからお好みの調整を行い、スクリュー2本を適度な力で締めてください。またリアスイベルも同時にはずれますので、ご注意ください。

**チークピース**：銃口を前にしてのストック右面後部のチークピース下に調整スクリューが2本あります。付属レンチ(5mm：太い方)にて2本とも軽く緩めてください。チークピースが自由になり無段階調整ができますので、お好きな高さで止め、スクリューを適度な力で締めて固定してください。構造上、ピラー部にスクリューの跡が付きます。またスクリューを抜いてしまうと、中のガイドパイプが出てきますので、ご注意ください。



## 4. 可変レンジアップ(ホップアップ)について

この製品のレンジアップ(ホップアップ)システムは、可変タイプです。最適な飛距離延長効果を得るためには、必ずマルゼン製BB弾各種(0.2g以上、特にスーパーグランドマスターBB弾)を用いて、適正な可変調整をしてください。ホップのかかり不足ですと効果ができません。逆にかかり過ぎですと極端なホップ・曲がり・ドロップ、そして弾づまり(こもった音で銃内に停弾)を起こす場合があります。システムは基本的にメンテナンスフリーです。特に構造上、弾の通路(バレル内等)への注油はお止めください。油によりBB弾への抵抗がなくなり、油分が無くなるまで、ホップがかからなくなります。※このタイプ96のバリエブル(可変)ホップアップシステムはインナーバレルも含め、完全新規です。他のAPS-2とはパーツの互換性はありません。

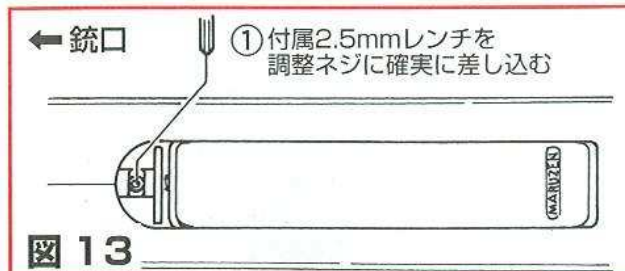


図 13

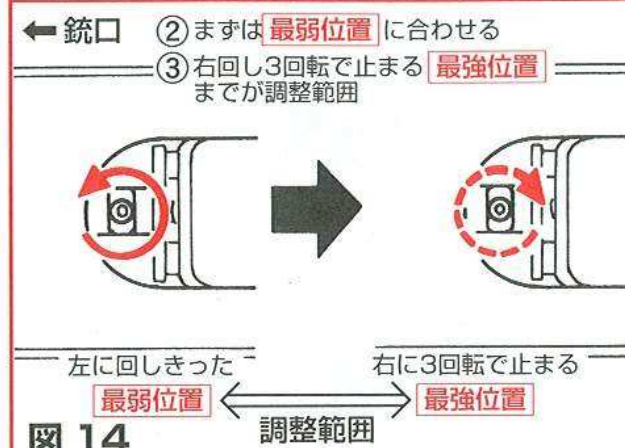


図 14



図 15

<可変調整→発射>⇒図13・14・15参照

- ① まずセフティをかけてください。マガジンキャッチ前方楕円穴の奥に六角穴の調整ネジがあります。ネジ穴に付属六角レンチ(2.5mm：細い方)を確実に差し込んでください。
- ② まずは左に止まるまで、やさしく回してください。止まった所が「ホップアップ最弱位置」になります。止まった後、さらに無理に回そうとするとシステムが傷みますので、絶対にお止めください。※この調整ネジは、分解時のみ外せます。⇒<メンテナンスのための分解>参照
- ③ 調整範囲は、この「最弱位置」から右に約3回転させて止まる「最強位置」の範囲内となります。
- ④ 「最弱位置」から、調整ネジにて右(強)に少しずつ回し、かけすぎたら左(弱)に戻し、最適な水平弾道が得られるまで、調整→発射を繰り返してください。構造上、ホップ強からホップ弱に調整した直後の数

発は強めのままの場合があります。また調整範囲3回転中の前半2回転のかかりは後半1回転に比べ、弱めです。※発射の衝撃等で調整ネジが自然に回る場合があり、急に調子が悪くなりましたら、再調整してください。

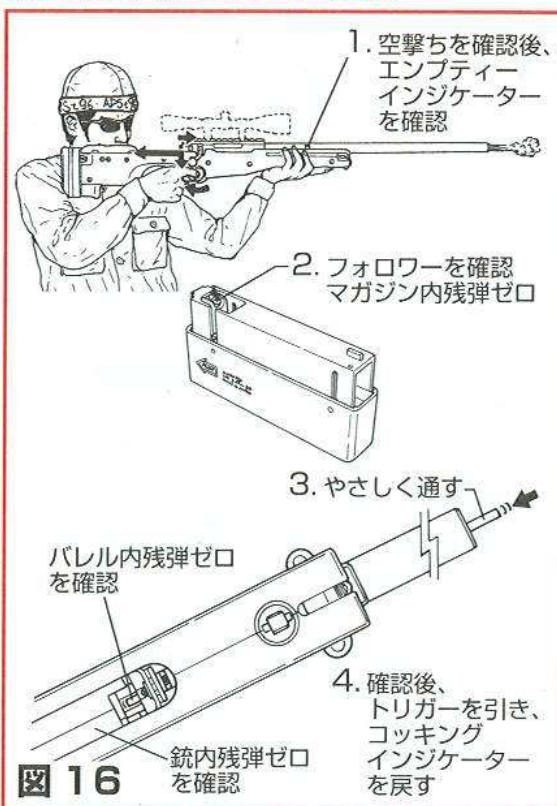
△注意：レンジアップ(ホップアップ)の弾道は、BB弾の表面処理と重量の誤差、風、気温、本体製品差等の諸条件によりすべてが同様に飛ぶとは限りません。ご了承ください。また、新品撃ち初めは各部のオイル(工場組立時に必要です)のため、レンジアップが不安定な場合がありますが、しばらく撃つことにより安定してきます。

△警告：レンジアップ(ホップアップ)システムは銃をまっすぐ正立(⇒図10参照)させて、条件に合うBB弾を適正調整で発射した時に効果的なホップアップ弾道が得られます。よって銃を斜め、横、逆さにしたり、条件に合わない重量・直径のBB弾にて調整・発射されると、BB弾は全く予期しない方向(極端なホップ・曲がり・ドロップ)に飛んだり、弾づまり(こもった音で銃内に停弾)を起こす恐れがあります。ホップ用ラバーパーツの破損を引き起こしますので、つまり弾は、ただちに「トラブルシュート」の3.を参考に銃から取り出してください。

★ここまで正しく操作しても発射しない時は「トラブルシュート」をご参照ください。

## 5. 発射を終える時の処理

競技、練習を終える時は、思わぬ事故を防ぐため、必ず次の **弾抜き(銃・マガジン)** を行い、銃を安全な状態にしてください。



**弾抜き(銃・マガジン)** ⇒図16参照

1. 競技、練習を終える時はマガジンに給弾した弾を安全な方向に全弾撃ちきり、空撃ち(：弾は発射されずエアのみ)とエンプティージャーの飛び出しを確認してください。
2. マガジンをはずし、マガジン内に弾がないこと、上部にフォロワーが見えていることを確認してください。
3. マガジンをはずすだけでは、銃のチャンバー内にBB弾が残っている可能性があります。まずシリンダーを引ききりマガジン着脱口を上にして、銃口から付属ロッドをやさしく通し、銃内に出して、銃内にBB弾がないことを確認してください。この時インナーバレル基部のチャンパーパッキンを傷めないよう充分ご注意ください。さらに銃内部のこぼれ弾等も確認してください。つまり弾の処置は 図16 トラブルシュートの 3. も参考に。
4. 銃口を安全な方向に向けてトリガーを引き、コッキングインジケーターの戻りを確認してください。

⚠ 残弾警告③(発射を終える時は必ず確認を)：実物同様、この銃は構造上、銃のチャンパー(発射直前のBB弾を保持するバレル基部 ⇒図2 参照)内にBB弾を送る動作：コッキング(⇒図7・8 参照)をした後にマガジンをはずした場合、銃チャンパー内に必ず残弾したままになり、大変危険です。このまま放置すると次操作時残弾を忘れて発射してしまう可能性があります。続けて撃たない時はただちに 上記 5.発射を終える時の処理 を行い、銃内にBB弾の無い安全な状態にしてください。エンプティージャーが飛び出している、もしくはマガジンがついていないというだけで、その銃内にBB弾がないだろうとは絶対に判断しないでください。2.マガジンの使い方の ⚠残弾警告① と 3.発射の ⚠残弾警告② も参照)

⚠ 警告：銃は給弾・コッキングしたまま、つまりセフティをはずせばすぐ発射できる状態で絶対に放置しないでください。

## 4 メンテナンス

★すべての作業は上記 5.発射を終える時の処理 を終えてから行ってください。

⚠ 注意：工具の取り扱い・パーツの角等に注意してください。作業に自信のない方は修理品として当社サービスセンターまでご連絡後お送りください。往復送料はお客様の自己負担となりますが、下記クリーニング等は基本的に無料で行います。(交換パーツ代は有料)※誤った可変調整・分解・改造による故障・事故等については当社では一切の責任を負いません。

### <マズルピース>

精密ブルバレルイメージを再現する11°クラウンを採用しています。このパーツはアウターバレル先端にねじ込まれています。もし緩んだ場合は、滑り止め付軍手等のゴム部(もしくはゴム板等)を当てて、増し締めしてください。この際、各パーツの角に注意してください。

## < シリンダーストッパー >

トリガーガード内前方のレバー。これを操作することにより、レシーバーとストックを組んだ状態のまま、簡単にシリンダーの脱着ができます。運搬時等ハンドルが邪魔になる場合にもはずしてください。その際シリンダーノズル(⇒図28 参照)を必ず保護してください。

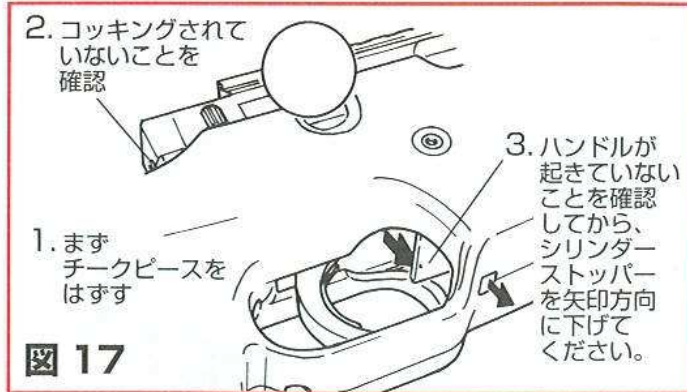


図 17

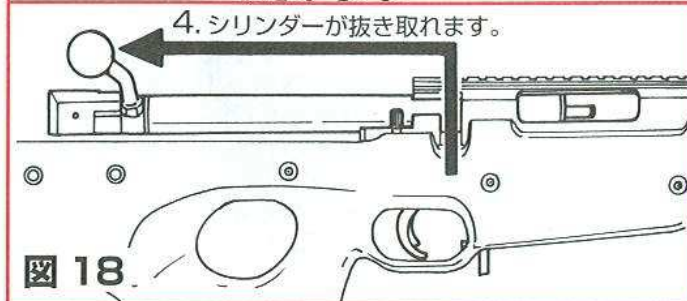


図 18

## シリンダーの抜き方 ⇒図17・18参照

1. まず 図12 を参考にチークピースをはずしてください。はずしないと構造上シリンダーが抜けません。
2. 銃内に残弾がないことを確認後( 5. 発射を終える時の処理 参照)、マガジンをはずしてください。そしてコッキングされていないことを確認、されているとストッパー操作ができません。
3. ハンドルが起きていないことを確認してから(ハンドルが起きた状態でストッパーを引き出すと、いきなりシリンダーが抜け落ちますので、**ご注意ください**)、トリガーガード内シリンダーストッパーレバーの上部に指を入れ、止まるまで下げてください。やや固めですので、なるべく親指で操作してください。
4. ハンドルを起こせば、そのままシリンダーは抜き取れます。

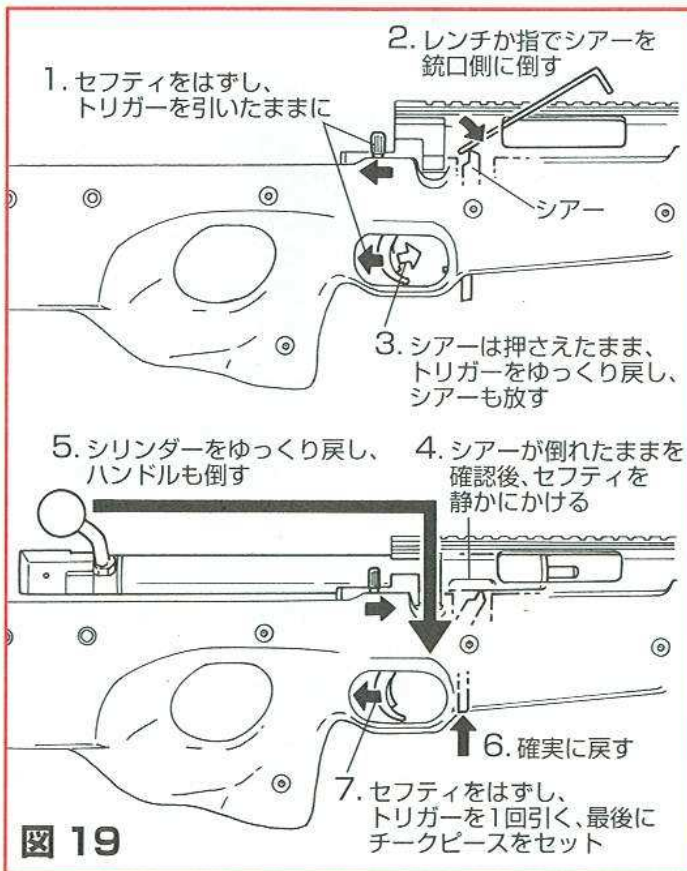
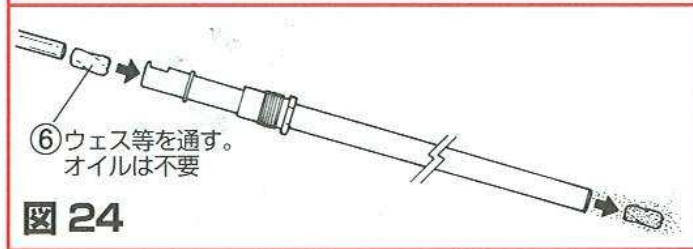
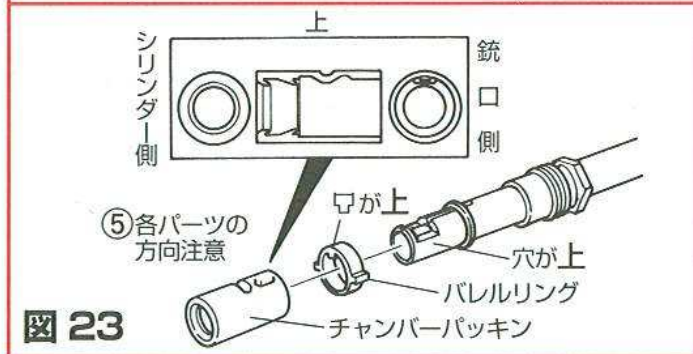
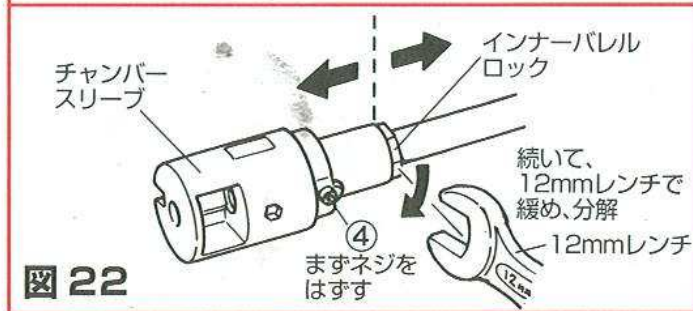
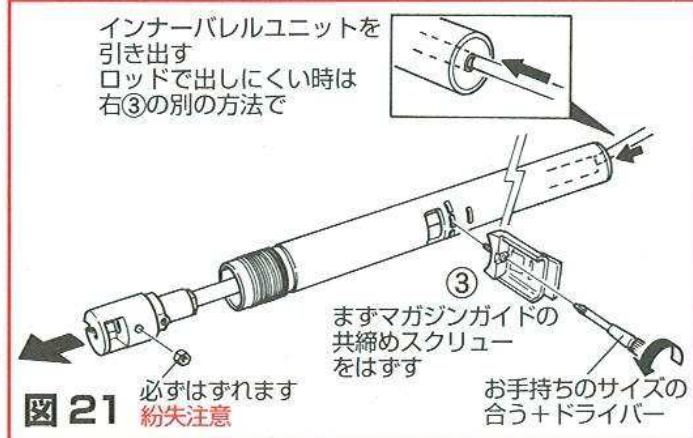
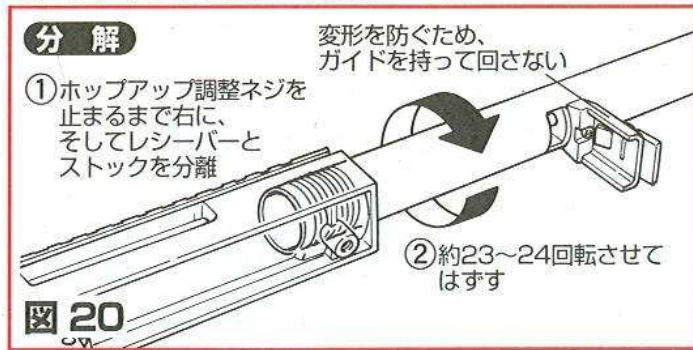


図 19

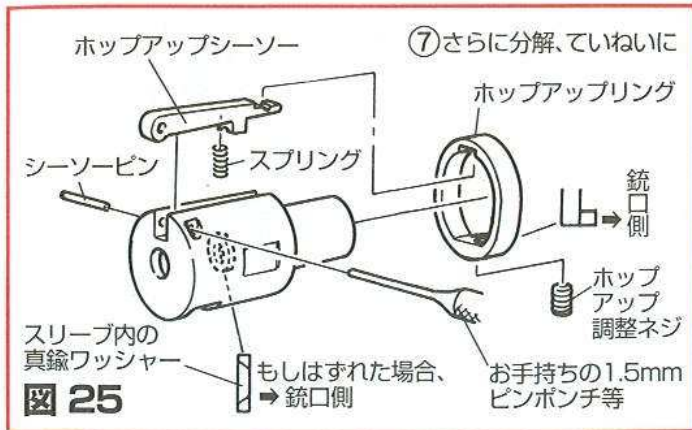
## シリンダーの戻し方 ⇒図19参照

- ★そのままではシリンダーが銃内のシアーが当たり、戻せません。
1. セフティをはずしてトリガーを引いたままにしてください。
  2. ポートから、付属レンチ(もしくは指)を入れ、シアーを銃口側に倒して押さえてください。
  3. シアーは押さえたまま、トリガーをゆっくり戻し、それからシアーの押さえを放してください。
  4. シアーは倒れたままであることを確認してから、セフティを静かにかけてください。
  5. シリンダーをゆっくり戻し、ハンドルも倒してください。
  6. ストックから出た部分を押し、シリンダーストッパーを確実に戻してください。引っ掛かりを感じる場合はシリンダーを少し前後させて、位置を合わせてください。
  7. セフティをはずして、必ずトリガーを1回引いてください。これを忘れると、直後はコッキングされない場合があります。最後にチークピースをセットしてください。

<メンテナンスのための分解>⇒図20・21・22・23・24参照



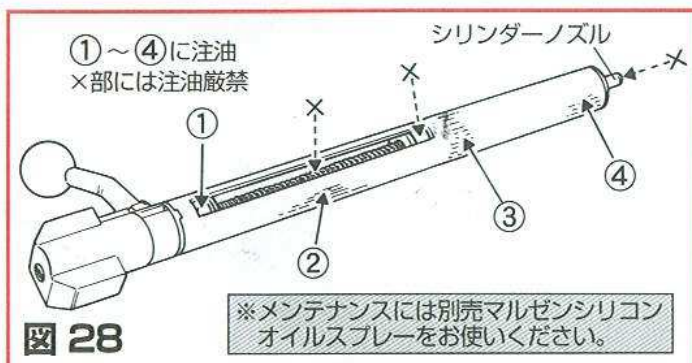
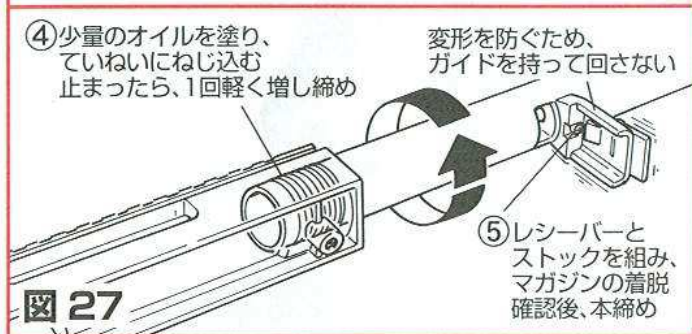
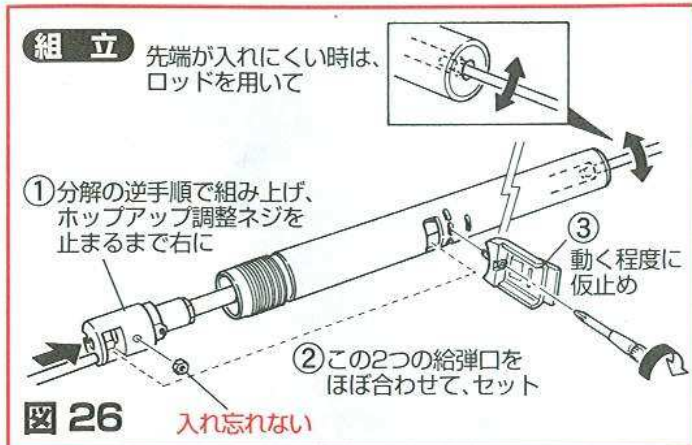
- ① 銃内に残弾がないことを確認後(5. 発射を終える時の処理 参照)、ホップアップ調整ネジを止まるまで右に回して、マガジンをはずしてから、セット(図1 参照)の逆手順でレシーバーとストックを分離してください。
- ② 矢印方向にアウターバレルを回して抜いてください。変形を防ぐため、ガイドを持って回さないでください。細かいネジピッチで約23~24回転入っていますので、ていねいに作業してください。
- ③ マガジンガイドとチャンバーの共締めスクリューをお手持ちのサイズの合う+ドライバーで緩め、マガジンガイドを取ります。銃口より付属給弾ロッドでインナーバレルの端を押し(作業しづらい時はアウターバレルネジ部を下にして雑誌等にコンコンと当て)インナーバレルセットを引き出してください。チャンバー部ナットが必ずはずれますので、紛失に充分注意。
- ④ まずホップアップ調整ネジをはずし、チャンバースリーブ前方のインナーバレルロックをお手持ちの12mmレンチで完全に緩め、インナーバレルを前方に引き出し、各パーツをはずしてください。
- ⑤ 製品によっては 図23 のように分離せず、チャンバーパッキン・バレルリングがスリーブ内に残る場合があります。これらのパーツには 図23 のような方向性があります。汚れ等を除いてください。
- ⑥ インナーバレルは、付属クリーニングロッドを用いてウエス等を通し、クリーニングしてください。BB弾の通路すべてにオイル分は不要です。この製品は特にバレル内にオイルが回った場合、ホップ効果が低下します。
- ⑦ さらに分解クリーニングする場合：ホップアップリングをはずしてください。チャンバースリーブのピンをお手持ちの1.5mmピンポンチ等で抜き、ホップアップシーソーとスプリングをはずしてください。



※スリーブ内の真鍮ワッシャーは基本的には必ず必要はありません。はずれた場合は、必ず 図25 を参考にしてください。

<組立> ⇒図26・27参照

- ① 分解の逆手順でインナーバレルセットを組み上げ、ホップアップ調整ネジを止まるまで右に回してください。
- ② アウターバレルの給弾口とチャンバースリーブの給弾口をほぼ合わせながら入れます。ナットを忘れないこと。インナーバレル先端がセットしにくい場合は、銃口よりロッドを差し込み、インナーバレルの位置出しを行ってください。
- ③ アウターバレル三つ穴の真中にチャンバースリーブのナットを合わせ、マガジンガイドが動く程度に仮止めしてください。
- ④ アウターバレルネジ部に少量のシリコンオイル(もしくはシリコンオイル)を塗り、ていねいにねじ込んでください。止まったら適度な力で軽く1回だけ「キュッ」と増し締めしてください。変形を防ぐため、ガイドを持って回さないでください。
- ⑤ レシーバーをストックに取付け、1度マガジンを付けて位置出しをします。マガジンをはずしてから、スクリューを本締めして固定してください。(位置が出ない場合はアウターバレルをさらに調整：締め込む等してください。)



注油 ⇒図28参照

もしコッキング操作が固くなったと感じる場合、図28 に従い、シリンダー内・表面の4ヶ所に別売マルゼンシリコンオイルスプレーを適量スプレーしてください。他の部分は工場組立時に注油されていますので基本的に必要ありません。また一部のスチールパーツ(ストックのネジ頭等)にも錆防止のため、時々適量塗布してください。

△注意：命中精度、ホップアップのかかり方に影響が出ますので、銃内弾の通路(マガジン内・給弾部→銃チャンバ内→インナーバレル内)には注油厳禁です。これらの部分に油分がついた場合、かなりの発数を撃ち込み、油分が飛ぶまで、ホップアップがかからなくなります。

⚠ **警告**：この銃は樹脂パーツ(ABS、ジュラコン)を多用、部分的にゴムパーツを使用しています。そのため金属専用オイル(ミシン油、CRC等)を使用されると、樹脂・ゴム部分が侵され、亀裂等が起こることがあります。別売マルゼンシリコンオイルスプレー以外を使用する場合は、樹脂・ゴムに影響がないことを充分確認してください。

### 外装パーツの手入れ

汚れた時は、湿らせた布で、汚れがひどい時は食器用台所洗剤を薄めて拭いてください。アウターバレルはアルミニウムに黒アルマイト処理、レシーバーはジンクダイキャストに黒染め処理です。使用により角等の処理が剥がれて下地が出てきます。もし修正される場合は市販の黒染め液を、その説明書に従いお使いください。ストックはグラスファイバー入り樹脂製(ABS)です。素材の色合いを活かすため、塗装は行っておりません。当初ややグレー気味ですが、シリコンオイル塗布や使用により、しっとりとした黒色に変化します。この変化をお楽しみください。

⚠ **警告**：強力な洗剤、研磨剤、コンパウンド、溶剤(シンナー等)は銃パーツを痛めますので使用しないでください。

### 危険な分解

メンテナンスのため、修理のため、ちょっとした好奇心であっても、**④**メンテナンス 以上の銃の分解は試みないでください。見える範囲のネジ類は時々増しじめしてください。

⚠ **警告**：この銃は複雑ですので、不要な分解後再び正しく組立することは困難です。組み間違いで操作してしまうことは、大変危険です。必ず修理をご依頼ください。

## 5 危険な改造の禁止

⚠ **警告**：この製品は設計当時に最適の操作性、安全性、耐久性を取り入れて製造/検査されています。そして、JASG設定の競技に対して必要十分な性能を保持しています。JASG承認アフターパーツ以外のパーツ使用による改造、加工は作動不良など銃の故障を引き起こします。特に重要な部分(トリガー、セフティ、メインスプリング等)の改造、加工は大変危険です。作動に少しでも問題が起これば、ただちに使用を止め、修理依頼をしてください。⇒**⑧**マルゼン製品の修理について を参照

## 6 保管方法

⚠ **注意**：保管に際しては、以下の2項目をお守りください。

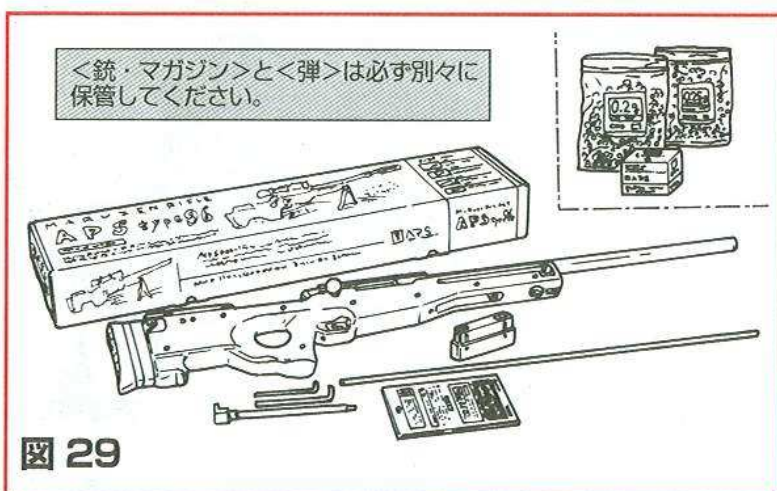


図 29

- ① まず **③** 操作方法 の 5.発射を終える時の処理 の **弾抜き(銃・マガジン)** を必ず行ってください。続いて必ずインジケーターにてコッキングが解除されていることを確認してください。コッキングしたままですと、メインスプリングがへたります。長期保管の場合、銃に **④** メンテナンス も行ってください。錆防止になります。
- ② そして、対象年齢未満の人、操作のわからない人、ルールが守れない人の手が届か

ない場所を選び、<銃・マガジン>と<弾>を別々に分けて保管してください。その際<銃・マガジン>はこの使用説明書と共に新品購入時の箱に入れてください。

## 7 トラブルシュート (故障と思われる時)

⚠ 警告：銃口は常に安全な方向に向けてください。また、銃口は絶対にのぞかないでください。

⚠ 注意：工具の取り扱いに注意してください。

★銃を説明書に従い正しく操作しても、正しく作動しない場合は次の原因が考えられます。

※修理依頼 については ⑧マルゼン製品の修理について をご参照ください。

### 1. 諸元表通りの性能が出ない。

⇒ 残念ながらすべての生産品が出荷直後から諸元表通りの性能とは限りません。パーツ同士のかみ合い、馴染み期間等様々な要素があります。また、命中精度につきましてもご了承ください。

### 2. セフティをしっかりとかけても、効かない、勝手にはずれる。

⇒ セフティをしっかりとかけても、効かない等の場合、セフティの内部パーツ破損が考えられます。ただちに使用を止め、修理依頼をしてください。

### 3. レンジアップ(ホップアップ)のかかりがおかしい。

⇒ ③操作方法 の 4.可変レンジアップ(ホップアップ)について を参考に、銃をまっすぐ正立(⇒ 図10 参照)させて、必ずマルゼン製BB弾各種(なるべく0.2g以上)を用いて発射してください。

★この製品は当社製BB弾0.2g以上を基準に設計されています。

●ホップが強い⇒ 調整が強めか、軽量BB弾(0.2g未満)の使用が原因。

●ホップが不安定⇒ 銃をまっすぐ正立させて、当社製BB弾0.2g以上をご使用ください。

●ホップがかからない⇒ チャンバー等弾の通路にオイルが付着しています。しばらく撃ってオイル分をとばしてください。新品時は組立のオイルが付着している場合があります。しばらく撃ってもかかりが戻らない場合はメカトラブル等が考えられますので、メンテナンスを参考に交換・取付もしくは修理依頼してください。

●調整できない⇒ 調整パーツの組違い、故障が考えられます。再組立てされるか、修理依頼をしてください。

●弾づまり⇒ 調整が強めです。ただちに弱めてつまり弾を取り出して(発射して)ください。もしくはマルゼン製以外の直径の大きいBB弾の使用による弾づまりです。付属クリーニングロッドを用い、③操作方法 の 5.発射を終える時の処理 の 図16 の方法でつまり弾をやさしく取り出してください。

### 4. BB弾が撃てない。

⇒ セフティを確実にはずしていません。 図3 を参考に確実に操作してください。

⇒ マルゼン製BB弾以外の使用による弾づまりが考えられます。使用BB弾は ③操作方法 の 2.マガジンの使い方の <B. BB弾の給弾> を参考にお選びください。当社製品は当社製BB弾を基準に設計されていますので、バレル内径以上等のサイズが大きい他社製BB弾は確実につまります。また、撃てなくなったから銃内に弾がないということではありません。ただちにセフティをかけて使用を中止してください。ごく簡単な弾づまりの場合は 上記 3. を参考につまり弾を取り除いてください。もしくは当社サービスセンターにご相談ください。

### 5. コッキングができない。(シアーがかからない時)

⇒ ⚠ 警告：耐久性を超えた長期使用によるシアー(シリンダー内のピストンを固定・解除するトリガーと連動した内部パーツ)の摩耗、内部トラブル、誤った使い方等により、正しく操作してもコッキングできない、できても自然に解除されてしまう、という大変危険な状態が起こる場合があります。ただちにコッキングを解除してセフティをかけ、使用を中止、当社サービスセンターにご相談ください。

### 6. 落としてしまった。

⇒ 落下前と比べて、作動面、特にセフティ関係、に少しでも問題が起きましたら、ただちに使用を止め、修理依頼をしてください。

## 8 マルゼン製品の修理について

この製品は正しい操作で、定期的にメンテナンスを行い、通常に使用していれば、耐用期間中の故障はほとんど起こりません。操作ミス及び長期の使用によるパーツ消耗等で調子が悪くなった場合は、**㊦トラブルシュート**を参照後、当社サービスセンターにまずご相談ください。ご相談後、直接当社に修理依頼される場合、次の4項目を必ずお守りください。

1. 時期により修理品が混んでいたり、修理交換パーツを在庫していないことがあります。必ず事前に電話(下記参照)でお問い合わせください。おおよそのお預り期間と修理代金をお知らせします。
2. 次の6項目を明記したメモを必ず修理依頼品に添えてください。  
①修理依頼製品名      ②具体的な故障内容      ③郵便番号  
④ご住所                  ⑤お名前                  ⑥昼間の連絡先電話番号
3. 送られる修理依頼品は、弾を抜き、ガスを抜いた安全な状態にして、新品購入時の箱に入れ、しっかり梱包してください。この使用説明書はご自分の手元に残しておいてください。
4. 修理依頼品の往復送料は基本的にお客様のご負担となります。 お客様元払い で当社まで、そして修理完了後当社から お客様着払い でお送りします。

**《変造、改造した製品及びその変造、改造が原因の事故に関して当社は一切の責任を負いません。》**

※以下の場合、修理をお受けしない場合があります。

- ・改造品、特に安全性に問題のある改造、またはその形跡のある製品。
- ・説明書にある正しい使用方法以外の使用が原因による故障。

※当製品に限らず、エアースポーツガンの各パーツは法規定に定められた素材で構成されています。各パーツは消耗品であり、耐用期間があることをご留意ください。耐用期間は発射数、使用状況、メンテナンス頻度により大きく異なります。

※当製品に限らず、弊社製エアースポーツガンは同一ロット内同一製品であっても、製造時期により、改良のため仕様の一部が多少異なる場合があります。ご了承ください。

※スペアマガジン等別売アクセサリーについては、店頭または当社カタログにてご確認ください。

★製品、説明書、パッケージ等にお気付きの点がございましたら、当社サービスセンターまでご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

**MARUZEN**

**マルゼン サービスセンター**

〒130-0003 東京都墨田区横川3-11-11

TFI 03(3623)2682(代) [月~金 AM11:00~PM5:00・祝祭日は除く]

・仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。・説明書の内容は'04/11 現在です。